

平成29年度第2回地域ネットワーク部会議事要旨

日時：平成29年7月5日（水） 18:05～19:10
場所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター
構成員：11名
出席者：8名 宮里 浩（那覇市立病院）、照屋 淳（北部地区医師会病院）、伊江 将史（中部病院）、
金城 達也（琉大病院）、増田 昌人（琉大病院）、
新垣 千春（那覇市立病院）、本仲 寛美（中部病院）、當山 美奈子（琉大病院）、
欠席者：3名
川満 博昭（県立宮古病院）、中上 弘茂（八重山病院）、真鶴 善栄（がん患者会連合会）
陪席者：2名 南 大介、（よりよい地域医療を応援する会）、渡嘉敷 留美（琉大病院）

〔報告事項〕

1. 部会委員について（部会長、副部会長決定）

宮里部会長より、資料1に基づき、平成29年度地域ネットワーク部会の委員が紹介された。新規委員として、琉大病院 當山美奈子看護師、県立中部病院 本仲寛美看護師が加わったことが報告された。

2. 平成29年度第1回地域ネットワーク部会議事要旨について

宮里部会長より、資料2に基づき、平成29年度第1回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について報告があり、承認された。

3. がん地域連携クリティカルパスの適用状況について

宮里部会長より、資料3に基づき、平成29年5月末日時点のがん地域連携クリティカルパスの適用状況について、3拠点病院の合計は17例で、施設別では、那覇市立13例、琉大病院4例、中部病院が0例の順になっていることが報告された。

現段階では化学療法をしている場合のパスの運用はされていないが、前任部会長の佐村先生がひな型を作ろうとしていた。化学療法の依頼ではなく、化学療法中にかかりつけ施設と一緒に診る、更に、補助化学療法終了後に診てもらう内容。事務局に、化学療法のパスについて確認するよう、宮里部会長より依頼があった。

4. その他

NPO よりよい地域医療を応援する会より、別紙資料に基づき、琉大病院・沖縄病院の肺がんのパスの状況について報告があった。また、パス普及、課題解決への意見交換会等を考える場合の意見を募った。部会委員より、沖縄と近い地域性の中で、（例えば、熊本県など）どのようにパスを行っているか、肺がんのパスをうまく運用してメリットを感じている医師の話を、講演会およびディスカッションはどうかとの意見があった。

[協議事項]

1. 沖縄県内のがん診療連携拠点病院以外の市中病院における地域連携に関する講演会等の企画開催について

宮里部会長より以下について報告があった。

＜中頭病院への講演会依頼の状況について＞

宮里部会長より、中頭病院外科當山医師へ講演会の依頼をして、内諾を頂いたことと、内容としては、中頭病院の地域連携の現状、対策や課題について依頼したと報告された。事務局からも依頼しており、中頭病院外科當山医師から正式な回答後に、日程調整することとなった。

県内で症例が多い中頭病院からの講演と拠点病院の県立中部病院の伊江委員から講演をして頂く計画しているが、今後内容決め、年度内に1回は開催を目指すとの報告があった。

宮里会長より、地域連携に関する講演会に関しては、中部地区で開催して、今後、北部地区での開催を検討していく形になると説明があった。

2. 次回の開催について

次回の開催日は、10月4日（水）、10月18日（水）、10月25日（水）が候補に挙がっている。日程確定に関しては、後日メールにて調整することとなった。

3. その他

・地域ネットワーク部会として、今後はパスだけではなく、広い意味での地域連携を考えた取り組みの提案があった。